

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・夏季休業中・B群
	対象学科・専攻	機械工学科
	担当教員	田畑 隆英 (Tabata, Takahide)
	教員室	機械工学科棟 3 階 (Tel. 42-9110)
工場実習 (Training in Manufacture)	E-Mail	tabata@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	実習 (30時間以上)	
〔本科目の目標〕 企業活動を実際に体験することにより、以下の事項を目標とする。 1. 社会人として必要な生活態度、責任ある行動を身に付ける。 2. 実社会の生産現場において、技術がどのように利用され開発されていくのかを実習し、勉学の意味と目標を理解する。 3. 企業の組織及び人間関係についても学習する。 4. 将来の職業選択の手掛かりをつかむ。		
〔本科目の位置付け〕 機械工作法や工作実習で学習した知識が必要である。本科目を修得した場合、技術が社会及び自然に及ぼす影響・効果に関する理解や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚する能力が養われる。		
〔学習上の留意点〕 上記の目標を十分に理解し、当該企業の規律・規則に従うこと。 1. 社会人に見合う良識と節度ある行動、当該企業の人々とのコミュニケーションに努めること。 2. 事前に「工場実習の誓約書」を提出すること。 3. 実習終了後は直ちに、「工場実習報告書」を提出すること。 4. 評細は別紙「工場実習の心得」に従うこと。 5. 万一の事故などに備え、災害傷害保険等へ加入することが望ましい。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
当該企業の与えるテーマ	1 ～ 2 週間程度	実習先企業の選定や人事担当者との連絡は自分で確実に行うこと。また、実習課題の遂行に際しては、自ら考え、検討し、不明な点は調査・質問して、積極的に問題解決を図る姿勢が望まれる。
〔教科書〕当該企業から提示される資料 〔参考書・補助教材〕当該企業から提示される資料		
〔成績評価の基準〕当該企業の指導責任者による評価や実習報告書をもとに可否で評価		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 3-d 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-3, 4-2 〔JABEEとの関連〕 (d) (2d)		